

ゼミ活動報告 「第一回宮門会」

田中千尋

10月19日、宮川ゼミ初のOB会となる宮門会が開かれました。では、この「宮門会」の名前の由来と込められた思いについて説明します。宮門会の由来は、宮川先生の”宮”と、先生の門下生が集う、という意味での”門”をとって「宮門会」だそうです。そして宮門会には、これから月日が経っても、この宮門会が開催されることによって皆が集い、近況を報告し合い高め合える場になってほしい、という先生の気持ちがこめられています。また、開催時の現役ゼミ生の発表の場を設ければ、卒業生の社会人目線の意見・アドバイスが論文の成果を高めたり、世代が離れていても盛り上がることのできるツールとなるのではないか、というお話もありました。



記念すべき第一回宮門会では、1、2、3期生と約30人が集まり、近況を報告し合いました。どの席でも大変盛り上がっていました。久々にお会いした先輩も多く、お話を聞くのがとても楽しかったです。みっちーさんが進行してくださり、近況報告の時間がありました。一期生が話す姿を見て、各々が自分の道を進んでいらっしゃり、とてもかっこいいと思いました。続いて二期生は卒業論文、進路について、三期生は現在のゼミ活動について報告しました。一期生の先輩方は私たちが今取り組んでいる企業分析やCORE論文の取り組みを聞いて、とても懐かしんでいらっしゃいました。その姿を見て、より一層今取り組んでいる研究を頑張ろうと思いました。自分が卒業して何年か後、3回生のゼミを思い出すときに、笑って懐かしめるように、自分の学生生活に誇りに持てるように、なってい

たいと思うからです。

一次会は、先生の言葉で締められました。個人的には計画的偶発性理論に興味を持ち、少し調べてみました。とにかく積極性を持って行動することが、思わぬチャンスに合う可能性を生み出す、という事でした。今社会で働き出しの一期生にとっても、卒業も近づき進路が決まった二期生にとっても、就職活動を控える三期生にとっても、今を頑張ろうと思えるような言葉だったのではないかと思います。

二次会では、私たち三期生が不安に思っている就職活動について先輩方にお話を聞くことができ、とてもためになりました。まさに先輩、後輩の繋がりですね！次の冬合宿の話や未来の4期生の話もしたりと、いろいろな話題で盛り上がりましたね！

これからこの宮門会が、宮川先生、卒業生、現役生をつなぐ場として続いていくのがとても楽しみです。今回は都合が悪く来ることができなかった先輩方とも次回の宮門会で会えることを楽しみにしています。みっちーさん、このような素敵な会の幹事をしてくださりありがとうございました。